

映画制作と地域活性化 ～浜村温泉湯けむり映画～

鳥取市気高町浜村温泉とことり舎

はじめまして。「浜村温泉湯けむり映画塾」を主宰する、ことり舎の荒尾と申します。

浜村温泉は鳥取市の西部・気高町にあります。日本海に面し、民謡「貝殻節」の発祥の地といわれ、小泉八雲が新婚旅行で訪れたこの温泉地は、最盛期には十

特集

6

鳥取県



ことり舎
荒尾 極

数軒の温泉宿があり、関西を始め日本全国から観光客が訪れたと言います。しかし今はその面影も全くなく温泉宿も二軒を数えるだけになり、一地方のひっそりとした温泉街になつてしまいました。

この浜村温泉で、二十年近く前に閉じたお土産屋を改装し、アトリエ・ギャラリースペースとして開いたのが「ことり舎」になります。

私と浜村温泉の縁は、父親の実家が気高町の出身で、いわゆる「孫ターン」になります。大阪芸術大学の大学院で映画制作の研究をしていた私は、時折帰省していた気高町浜村温泉の地が、温泉街の風情はもろろん、日本海やそれに沿う砂丘、中国山地の山並み、因幡の白兔伝説、夏の緑の濃さと冬の雪景色の四季のコントラストなど、映画制作に於いてそのロケーションの良さを感じていました。そこで2011年の結婚を機に、「鳥取で、鳥取らしい、



現在のことり舎



改修前のことり舎

鳥取でしか撮れない映画」を目指し、気高町で映画制作の拠点を作るべく移住を果たしました。

「浜村温泉湯けむり映画塾」とは？

「浜村温泉湯けむり映画塾」は今年5年目を迎えます。きっかけは鳥取県がすすめるアーティスト・イン・レジデンスで移住者を招こうという取り組みの一団体として鳥取県から声を掛けていただいたものです。アーティスト・イン・レジデンスとは、その土地とは関係のないアーティストがその土地に滞在し地域との交流を図りながらアート作品を制作・発表をするものです。

映画制作は撮影でロケ地を訪れると、数日間はその町に滞在することになります。それもスタッフ・キャストなど人数も数十人単位になることも珍しくありません。造形芸術や

音楽、現代アートなどさまざまジャンルのアートがあります。制作過程に於いて携わる人の規模が最も大きいのは映画であると言っても過言ではないかも知れません。また映画制作は撮影日



貝殻節の撮影風景(2014年)